



ロゴマーク（左 セーフワーク神奈川 右 陸災防）

陸災防神奈川県支部

神奈川労働局長、厚木労働基準監督署長、陸災防神奈川県支部副支部長、陸災防厚木分会長が「物流施設合同安全パトロール」を実施しました。

神奈川県内の死亡災害が急増したため、陸運業の労働災害防止の取組みとして、令和7年11月6日(木)午後に「大型物流施設合同安全パトロール」を行いました。

神奈川県内の陸上貨物運送事業者に対して、荷役作業の労働災害防止の注意を喚起し、事業者、労働者が一体となって労働災害防止対策の取組が必要であることから、報道機関への公開パトロールで実施されました。

神奈川県内の労働災害発生状況をみると、本年と昨年の10月末で比較して、死亡災害は5件(令和6年4件)の発生、死亡及び休業4日以上之死傷災害は道路貨物運送業で3.7%の減少、陸上貨物運送業で33.2%の減少となっています。

パトロール先は ヤマト運輸株式会社 厚木ゲートウェイベース(愛甲郡愛川町中津 4001-8)で、仕分け・輸配送機能とロジスティクス機能が一体となった大型物流拠点です。

○現場の説明・誘導 作田ベース長 ほか

○神奈川労働局 ^{こやの}児屋野労働局長 ほか

○厚木基準監督署 長瀬署長 ほか

○陸災防 神奈川県支部 ^{かねや}金谷副支部長 ほか

厚木分会 新村厚木分会長 ほか

○神奈川労務安全衛生協会(荷主の立場から参加)

厚木支部 加藤支部長代行 ほか



写真番号1

趣旨説明・パトロール実施者紹介

パトロールの趣旨説明する
児屋野労働局長

繁忙期を迎えるに当たり、
荷役災害防止の取組みとして、
本パトロールを実施する
ものである。



写真番号2

作業エリアの状況のパトロール

ベルトコンベアのカーブする
箇所に荷の落下、作業者の身
体巻き込み防止の安全柵を
設置している。

写真は金谷副支部長が安全
柵を確認しているところ。



写真番号3

ロールボックスパレットの作
業者の運搬時の注意につい
て、両手で持つて運搬するこ
と、手を挟むこと、キャスター
に足を挟むことのケガに注
意することについて、日本
語、英語、ベトナム語、タイ
語で掲示し、作業者の注意を喚
起している。

金谷副支部長(右)と新村厚
木分会長が掲示を確認



写真番号4

エレベーター前の死角をなくし、ロールボックスパレットの接触を防止するため、天井に設置したドーム型ミラー

このミラーにより全方向の状況を把握できる。



写真番号5

ロールボックスパレットの接触防止注意の掲示(4言語の表示)

当該通路は、ロールボックスパレットがすれ違いや交差するエリアであり、作業者に注意喚起している。

金谷副会長が確認しているところ



写真番号6

ベルトコンベアの接続箇所のすき間部分の外側に安全柵を設置し、手を挟まないようにし、その旨の掲示も併せて行っている。(3言語)



写真番号7

外国人に対する安全衛生教育の実施状況を確認しているところ

労働者の母国語で説明を行って、労働者に現場内の危険箇所等注意点を理解しやすくしている。

パトロール実施者については、右から労働局長、厚木署長、陸災防副支部長、厚木分会長、労安衛協支部長代行



写真番号8

児屋野労働局長 講評

ロールボックスパレット等の移動作業が輻輳する場所に注意の掲示が適切になされていた。

整理整頓清潔の3S が適切に励行されていた。

夏季の熱中症対策も水分補給等を適切に実施していた。

派遣労働者の社員化等も積極的に取り組んでいる。社員化の道もあれば、安全意識も高くなると思われる。



写真番号9

金谷副支部長 講評

作業が自動化されている部分が多いと感じた。

外国人労働者に対する研修も丁寧に行われていた。

トラックの業者は、小規模な事業場も多く、丁寧な研修は、私たちも意識して取り組んでいきたい。



写真番号10

新村厚木分会長 講評

整理整頓が適切に行われている。

安全教育も適切に行われていた。

これから繁忙期を迎えるので、協力業者の災害防止も含め、安全の確保に努めていただきたい。

(陸上貨物運送事業労働災害防止協会 神奈川県支部 事務局)